

押忍

ブルガリアのブルガス市にて行われた「WORLD KUDO CUP 2025」に出場してきましたので、ご報告させていただきます。

<7月2日、3日>

2日の夜に羽田空港を出発し、約30時間かけて翌日3日の夜にホテル アベニューに到着しました。ホテルにはたくさんの空道の関係者方が宿泊していました。

<7月4日>

この日はお昼ごろに選手計量がありました。私は、出発までギリギリの体重でしたが、移動の際にいつも以上に動いたためか問題なくパスしました。計量する際に多くの国の選手と顔を交わすことになり、海外ならではの独特の緊張感が漂っていました。午後には、海外の雰囲気慣れるために、ホテル周辺のスーパーで食品を買ったり、徒歩で会場を見に行ったりしました。

<7月5日> 大会1日目

会場は畳ではなくマットでとても滑りやすくなっていました。開会式ではブルガリアのダンスを見ました。私たちを祝福するようなダンスでした。大会1日目は、シニア部門で出場された新出選手さんが3位でした。私は、シードで一回戦の相手がアゼルバイジャンの選手ということが決まりました。

<7月6日> 大会2日目

まず妹の試合で妹が勝利したので私も勝とうという強い気持ちがみなぎってきました。私の試合が始まってU13ルールでやっていたことに気づいて抗議しました。しかし、延長戦を行ってもポイントを取ることが出来ずに敗北してしまいました。とても悔しかったです。3位決定戦でインドの選手と戦い、1試合目の気持ちを思い出して戦いました。相手選手に倒され効果を取られてしまって悔しかったので、寝技の草刈りで相手選手をひっくり返して、効果を取り返しました。その後、腕十字で一本を決めて3位入賞を果たしました。他の日本人選手たちが次々と優勝していった日本チームは強いなと思いました。閉会式で1位の表彰台に上ってカップやメダル、賞状をもらいたかったと思いました。チームで日本が優勝した時、とても嬉しかったです。大会の後、さよならパーティーをホテルのレストランで行いました。日本人選手ともお話しできてたくさん知ることが出来ました。海外の選手とたくさん話したり、ダンスを踊ったり、とても楽しい時間を過ごせました。

<7月7日>

この日の午前中はホテルでゆっくり休みました。午後は、ホテルから20分くらいの広いスーパーやモールに行ってお土産をたくさん買いました。その後、ホテルに戻って昼食を済ませて休憩しました。夜にホテルを出発して、バスで空港に向かいました。ブルガス市空港からソフィア空港まで飛行機に乗って行きました。

<7月8日、9日>

ソフィア空港からイスタンブール空港、イスタンブール空港から成田空港まで飛行機で行

きました。成田空港で最後のミーティングをして、解散しました。

<最後に>

この度、ワールドカップに出場させていただきありがとうございました。そして、このような貴重な機会をいただけたにも関わらず、結果を出すことができなくて大変申し訳なく思っています。今回の敗北をしっかり受け止め、次の国スポや世界大会の優勝を目指して、稽古に励んでいきたいと思います。

この度の遠征に同行してくださった方々、選手の皆様、大変お世話になりました。そして、今回の遠征にご協力いただいた皆様、試合に向けてともに稽古してくださった青森支部の皆様、応援してくださった全ての方々に御礼申し上げます。皆様からいただいたアドバイスを心に刻み、より一層精進して参ります。

押忍

青森支部 相内美希

